

兵庫県立神戸高等学校（管理機関：兵庫県教育委員会）【Ⅳ期 3 年目】の  
中間評価結果について

1 中間評価の結果

これまでの努力を継続することによって、研究開発のねらいの達成がおおむね可能と判断されるものの、併せて取組改善の努力も求められる。

2 中間評価における主な講評

① 研究計画の進捗と管理体制，成果の分析に関する評価

【研究開発のねらいの実現にあたり，評価項目の内容がおおむね達成されている】

- ・学校全体で SSH としての計画が綿密に生まれ，成果の分析も，在校生だけでなく，卒業生も加えた経年変化を質的・量的に分析する取組は評価できる。
- ・探究力を育成するために具体的な 8 つの力を明確にして育成を図る方向性はよく考えられている。ただし，「問題を発見する力」や次の「未知の問題に挑戦する力」の育成状況を踏まえると，教育内容や指導体制の見直しが必要ではないか。また，項目が多すぎると思われる点等も，吟味して改善することが望まれる。

② 教育内容等に関する評価

【研究開発のねらいの実現にあたり，評価項目の内容がおおむね達成されている】

- ・生徒の主体性を考慮すると，総合理学科の課題研究のテーマ数は改善が望まれる。
- ・普通科は，1 年間のみの課題研究で効果があるのか，より詳細な分析が望まれる。
- ・理数以外でも家庭科や保健体育科の保健等で探究的な取組を行っている。また，総合理学科の各専門科目では，反転学習等の工夫を行い，普通科へも拡大している。
- ・生徒中心ではなく，事業実施のために教育内容を準備するという側面が強く，目的にあるような生徒の変容に繋がっているか，吟味することが望まれる。
- ・探究科目で他の科目との連携・接続を図り，系統的・継続的にカリキュラムが運用されるよう編成している。本校の探究の独自性等の発揮に向けた改善が期待される。
- ・実験パックは，良い試みだと思うが，探究活動としての特色等を明らかにし，探究科目をよりサポートできる教材キットへと改善していくことが期待される。
- ・SSH で培った探究活動のプログラムの汎用化について，理数数学等の科目で，8 つの力の育成に関する自己評価と今後の課題が整理されている点等は評価できる。

③ 指導体制等に関する評価

【研究開発のねらいの実現にあたり，評価項目の内容が十分達成されている】

- ・理数英の教師を中心としつつ，全ての教師による指導体制を編成している。

- ・課題研究のグループのレベル差にどう対応し、改善しようとしているのかも明らかすることが期待される。
- ・普通科2年生全員が行う「神高ゼミ」では、学年・教科を超えた教師が担当し、今年度からアドバイザー制度を取り入れ、生徒が授業担当者以外の教師からも直接指導を受けることができる体制を構築し、学校全体での探究活動を推進している。
- ・課題研究の支援を大学教員のサイエンスアドバイザーから受けている。また、OBネットと課題研究支援に関する「覚書」を交わしており、サイエンスアドバイザーとして「シニア人材」と「ヤング人材」に来校してもらい、継続的な支援を受けている。なお、学校として、教育や活用の方針をしっかりと固める配慮が望まれる。
- ・総合理学科では、少人数のクラス編成を実施しており、探究だけでなく、観察や活動などが計画・実施しやすい環境を整えていることも評価できる。

#### ④ 外部連携・国際性・部活動等の取組に関する評価

【研究開発のねらいの実現にあたり、評価項目の内容がおおむね達成されている】

- ・高大連携に関する開発の成果を踏まえて、高大接続に対する開発の推進が望まれる。
- ・大学との連携が単なるイベントではなく、探究も含めた継続的な連携になっており、評価できる。ただし、目的にある生徒の変容に効果的な活用か、吟味が望まれる。
- ・理数系部活動は、活発に活動しており、研究発表等で成果を上げている。

#### ⑤ 成果の普及等に関する評価

【研究開発のねらいの実現にあたり、評価項目の内容がおおむね達成されている】

- ・自作の教材も数多く作成、公開しており、また、実験パックの貸出しなども行っており、他校も含めた普及・啓発に力が注がれていることも評価できる。
- ・校内のサーバーに、これまでのSSH事業に関するファイル、データ等を整理し、担当者以外も情報等を得ることができる点が評価できる。
- ・成果の公表について、QRコードにより、閲覧する機会を増加させる取組を行い、実際に結果として表れており、評価できる。

#### ⑥ 管理機関の取組と管理体制に関する評価

【研究開発のねらいの実現にあたり、評価項目の内容が十分達成されている】

- ・今後は、SSH指定校以外や域外への効果の浸透についてのシステム化のモデルとなることが一層期待される。
- ・資料・教材を「成果の普及 Web サイト」に公開する努力を続けている。
- ・教育委員会が主導して、県内の理数教育の充実のため、本校をその中核とするプログラムを実施して、推進していることがうかがえる。SSHの指導・サポートだけでなく、県内への普及・啓発をしようとする努力は評価できる。